

添付資料1. 事業内容、事業の成果に関する写真

1.1 乳幼児保健栄養テキストの制作と普及

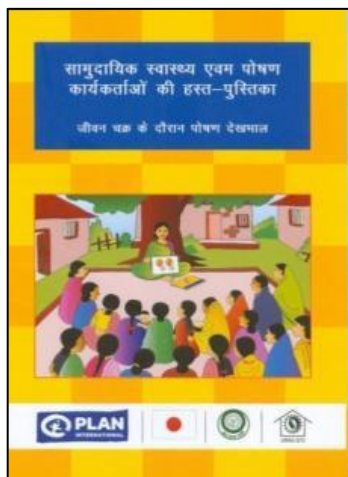
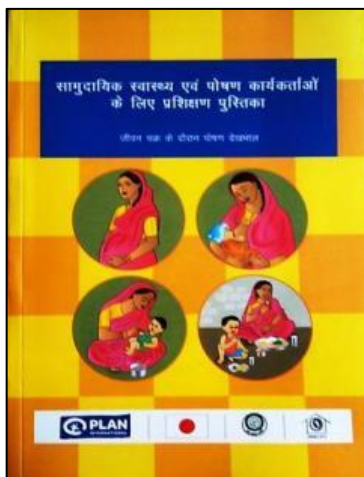
【乳幼児保健栄養テキストの制作】



乳幼児保育施設を利用する母親、提携団体スタッフらと日本人専門家を囲み、テキスト制作のための意見交換を実施。
(ビカネール県)



日本人専門家(右)の助言に熱心に耳を傾ける現地スタッフと現地事業責任者(渋谷職員)



保健、栄養、衛生分野を網羅した乳幼児保健栄養テキスト(左)と、重要な部分を抜粋した栄養ワーカー用ハンドブック(右)



月齢に適した情報をわかりやすく伝えるツールとして、妊娠期(左上)、生後 0-6 ヶ月(右上)、生後 7-12 ヶ月(左下)、1-5 歳児(右下)の 4 冊に分けた紙芝居形式の図解資料を制作。

【乳幼児保健栄養に関する研修】

- 対象：栄養ワーカー



5日間の研修に集まった栄養ワーカーたち
(ビカネール県)



研修目的を説明する保健アドバイザー(右から5人目)。
現地事業責任者(渋谷職員)も全日程に参加。



上腕測定帯を正しい位置に巻いて乳幼児の栄養状態
を調べる練習も行った。(ビカネール県)



乳幼児の身長測定を練習する栄養ワーカーたち
(ウダイプール県)



研修終了後、栄養ワーカーに日本国旗および関係団体ロゴの入ったバッグを支給。
栄養ワーカーは、フィールド活動で使用する冊子や道具類を持ち運ぶ際に活用する。(ビカネール県)

- 対象:乳幼児保育施設職員



対象 50 村から集まった乳幼児保育施設職員
(ビカネール県)



正しい授乳の姿勢を実演する練習(ビカネール県)

- 対象:妊産婦と授乳中の母親



妊産婦や授乳中の母親たちは、提携団体スタッフと栄養ワーカーから「最初の 1000 日」の重要性、定期検診や母乳育児の意義、食材に含まれる栄養価と栄養バランス、衛生習慣などについて学んだ。(ビカネール県)

【コミュニケーション研修】

- 対象:栄養ワーカー、乳幼児保育施設職員



伝言ゲームを用いたセッションでは、参加者たちは相手に伝えたいメッセージを、短くわかりやすい言葉で伝える重要性を学んだ。(ウダイプール県)



世帯訪問の場面設定でロールプレイする参加者。相手の心を開かせる接遇マナーや会話のコツなどについて学んだことを実践した。(ウダイプール県)



図解資料を用いて相手に説明する練習をする参加者たち(ウダイプール県)

1.2 乳幼児栄養食調理冊子の制作と普及

【乳幼児栄養食調理冊子の制作】



完成した乳幼児栄養食調理冊子(写真左)と、掲載されたレシピの実例(写真右)

【乳幼児栄養食調理研修】



現地コンサルタントがトレーナーとなり、栄養価の説明と調理冊子掲載のレシピを実演した。今後トレーナーとなる母親グループ代表者たちは、熱心に手順を観察し、メモを取ったりした。

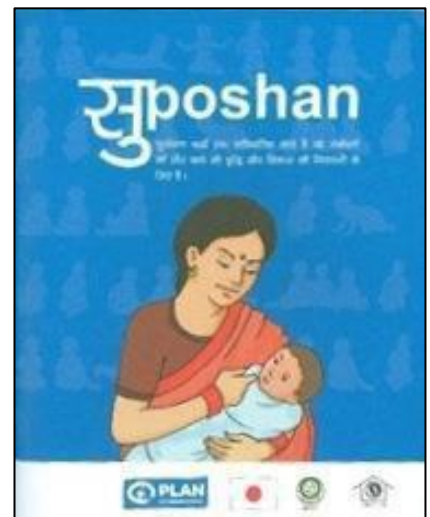
1.3 月例育児指導・相談会



育児指導・相談会に参加した女性たちは、妊産婦検診、予防接種、母乳育児の重要性など、村の中で毎月学べる機会を得られるようになった。

1.4 子ども成長手帳の制作

政府作成の既存の各種記録カードを1つにまとめたほか、月齢グループ別の発達マイルストーンと、食事・栄養素の摂取モニタリング表の要素を加えた。今後、家庭内で手軽に子どもの成長や予防接種スケジュールなどが確認できるようになる。



3.1 乳幼児保育施設の栄養児補助食と備品の支給



ウ県の乳幼児保育施設 25 ヶ所では、食事回数を1回増やし、さらにより栄養価のある食事を提供できるようになった。



ビ県では、公立乳幼児保育施設 75 ヶ所に不足している備品を支給するに当たり、行政に対する引渡式を実施した。

3.2 貧血症の乳幼児への微量栄養素等の支給



乳幼児保育施設だけでなく、世帯訪問、保健栄養デーや簡易健康診断デーなどを通じて、貧血改善や貧血予防のためにビタミン A や鉄分、亜鉛、ヨウ素添加塩、マルチビタミン剤、駆虫剤などを対象の乳幼児に支給した。(ウダブル県)

3.3 世帯情報記録システム(ソフトウェア)の開発と導入



両県とも、1 日目はアプリケーションを用いる意義、携帯端末の使い方、アプリケーションの構成などを説明した。2 日目に実際に端末の取り扱い方やアプリケーションの入力などをトレーナー(プロジェクト専任者とプロジェクトオフィサー)が実演してみせ、提携団体スタッフ(クラスターコーディネータ)と栄養ワーカーも実際に端末を手にして練習した。

3.4 重度栄養不良児の治療支援



ウ県対象地域近隣の地区保健センター内に設置した栄養不良治療センター(MTC)。当事業支援によりベッドと寝具一式、調理用具、冷蔵庫、玩具などが整備された。

3. 啓発イベント



ウ県対象地域近隣の地区保健センター内に設置した栄養不良治療センター(MTC)。当事業支援によりベッドと寝具一式、調理用具、冷蔵庫、玩具などが整備された。

4.1 州・県レベル連携ワークショップ



女性子ども福祉局や保健局職員 25 人、当事業関係者（提携団体スタッフ、栄養ワーカー、乳幼児保育施設職員など）参加のもと、子どもの栄養改善に向けて行政と連携して当事業を進めていくことなどを行政と合意した。（ビカネール県）